

□第 26 回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時： 平成 26 年 3 月 27 日（木） 午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

場 所： 旧大津公会堂 3 階ホール

参加者： 委 員 安孫子、大道、石川、川端、尼田（代理 木村）、山本、村田、秋村、
白井、寺田、山口、片岡、山中、田中、戸田、渡辺（代理 設楽）、磯田、
福井、柴山、勝部、松崎

オブザーバー 松本、山本、田邊

事務局 元田、伏木

大津市 山口、高見、北田、田山

商工会議所 1 名

傍聴者 2 名

（順不同・敬称略）

（1）開会（まちづくり大津・事務局 元田）

（2）開会挨拶

大津市中心市街地活性化協議会 安孫子会長

（3）議題

1. 新規プロジェクト会議の設立について（資料 7）
2. 平成 25 年度の活動報告及び平成 26 年度の事業計画（案）について（資料 1～8）
 - ① 各プロジェクト会議における平成 25 年度の活動報告及び決算（案）
 - ② 各プロジェクト会議における平成 26 年度以降の事業計画（案）及び予算（案）
 - ③ 中心市街地活性化協議会及び（株）まちづくり大津のホームページの更新について
3. 平成 25 年度大津市中心市街地活性化協議会の収支決算（案）について（資料 9）
4. 平成 26 年度大津市中心市街地活性化協議会の収支予算（案）について（資料 10）

議題 1 新規プロジェクト会議の設立について

会長より、前回の協議会時（2/10）に、県庁周辺エリアに関する取組みについて、今後は中活協議会との連携を視野に入れたいとの発言があり、それが「知縁のにぎわいづくりプロジェクト会議として、秋村委員をリーダーに新規プロジェクト会議の設置につながり、ご提案をいただいているところである。プロジェクト会議の設置については、プロジェクト会議規程第 3 条第 2 項において「リーダーは全体会議の委員の中から会長が指名するものをもって充てる」とあり、会長の指名により成立するが、委員の理解をいただくために秋村委員にプロジェクトの内容についての説明を求めた。

秋村委員から資料 7 の基本調書 1 ページ目の説明があった。

会長より大津駅周辺の重要なプロジェクトで必要であり、各委員より設置に「異議なしの」声があがり、新しいプロジェクト会議の設立及び秋村委員のリーダーを承認した。

議題2 会長より議題2、議題3、議題4の3件は互いに関連があるので一括審議とするとし、各プロジェクトの活動報告と来年度以降の事業計画を各プロジェクト会議のリーダーより説明を求めた。

- ・ 湖岸エリア・アートプロジェクト会議・・・山口委員 (資料1)
- ・ 大津町家利活用プロジェクト会議・・・白井委員 (資料2)
- ・ 大津まち遺産魅力発信プロジェクト会議・・・柴山委員 (資料3)
- ・ まちなかガイドプロジェクト会議・・・福井委員 (資料4)
- ・ 水空間デザインプロジェクト会議・・・山本委員 (資料5)
- ・ 大津駅再生検討プロジェクト会議・・・安孫子会長 (資料6)
- ・ 知縁のにぎわいづくりプロジェクト会議・・・秋村委員 (資料7)
- ・ 中活協議会及び(株)まちづくり大津HP・・・事務局 伏木 (資料8)

議題3

- ・ 平成25年度大津市中心市街地活性化協議会の収支決算報告・・・事務局 伏木 (資料9)
- ・ 平成26年度大津市中心市街地活性化協議会の収支予算報告・・・事務局 元田 (資料10)

※ 監事より、本協議会予算執行に関する諸帳簿、証票等について監査したところ、その出納は正確かつ適正に執行されているという監査報告があった。

(質問事項)

- Q. 大津駅前の再生の件について、駅前の影響力はかなり大きなウエイトを占める。その中で商業の問題について、駅前に関わる商店街関係者をプロジェクトに加えて協議をする必要があるのではないか？
- A. 検討する。大津商工会議所よりこの問題について提案もあり、動線として浜大津に繋がる寺町商店街振興と大津駅前活性化とは無縁ではないので十分に尊重して承ります。
- Q. 街中は商店街が重要であり、交えて協議することは必要である。商店街が活性化しなければ発展に繋がらない。
- A. 各プロジェクトは相互の交流が必要であり、柔軟かつ総合的、積極的に良い中身にしていく。
- Q. 大津駅の改築について
- ・ 駅は町の中心であり利便性を考え、観光客が大津駅に降りられた時に、滋賀の魅力を感じられる駅舎ができないか？ 駅を中心とした賑わいの動線作りができないか？ これが駅前商店街に繋がりを発展、また、びわ湖に向かって歩いて行ける動線作りが必要である。
 - ・ 県庁周辺の建物に人が流れる動線作り、駅を基点とした駅舎ができないものか？ 県庁周辺の建物が情報発信の場となるフロアのある場所にしてい
 - ・ 空き町家の情報管理をまちづくり大津で一元化し管理しては？

- A. 大津駅周辺や町家の利活用について積極的な提案を受け、熱い情熱をひしひしとを感じる。
大津駅の改築について協議会から積極的に責任のある提案をしていく。
- Q. 買い物難民が出るのに活性化は考えられない。
- A. これらを含め、注目してこれからのプロジェクトを進めいく。

議長より、

議題 2 「平成 25 年度の活動報告及び平成 26 年度の事業計画（案）について」、

議題 3 「平成 25 年度大津市中心市街地活性化協議会の収支決算（案）について」、

議題 4 「平成 26 年度大津市中心市街地活性化協議会の収支予算（案）について」

以上 3 つの議題について承認の是非の問いかけに、委員全員「異議なし」の声をもって承認された。

※ 次回の開催は、7 月 24 日（木） 午後 3 時、旧大津公会堂 3 階ホールで開催することが決定した。

（4）閉会

以上